会館だより

～26年度入館から半年を迎え～

暑い夏も過ぎ、肌寒さすら感じる秋口、皆さん体調は崩されていないでしょうか？新入館生の皆さんが会館を利用されて、すでに半年が経過しました。新しい環境にも少しずつ慣れてきた頃でしょう。

共同生活が初めての方にとって、入館当初は戸惑うことも多かったかと思いますが、毎日過ごすうちに、いつの間にかここが我が家になっているのではと思います。

皆さんが学業に専念する上で、健康な食生活は欠かせないことであり、私たちスタッフも第一に心がけております。そこで会館では例年、キュウリやトマト、レタス、ピーマンなど、スタッフが敷地内の畑で新鮮な野菜を育てています。野菜がすくすく育つ季節には、食堂でサラダバイキングに変身し、召し上がって頂いております。成長期の皆さんにとって、健康な食生活の一端となっていれば幸いです。

長い人生のうち、学生会館で過ごす時期はわずかな期間です。その中でも、食事や入浴時間といった、学生会館ならではの共同生活でコミュニケーション力が養われていきます。密な人間関係の中で芽生えるお互いを思いやる気持ちは、今後、皆さんが社会に出た際に大きく役立っていくものと考えます。学生の間は色々な経験や悩みがあると思いますが、スタッフに相談して頂ければ、できる限りのサポートをして参ります。

また、皆さんが快適に生活できるよう、会館の中も少しずつ変化しています。最近ではロビーや共用廊下の、照明交換を行いました。玄関先が明るくなったことで、会館全体にも明るさが増したように感じております。今後も改善の努力を続けてまいります。

スタッフ一同、入館生の皆さんが、充実した毎日を過ごせるよう、心より応援しております。

平成26年10月
館長　荒冷　哲二
職員一同

No.72
発行年月日
平成26年10月31日
北海道女子学生会館

編集者よりひとこと

会館では、会館ホームページやFacebookで、日常風景・会館イベント情報などを発信しております。
是非、ご覧ください。

http://www.hokkaido-nadeshiko.jp
〒060-0021
札幌市中央区北21条西15丁目
tel 011-736-8111

2014年度新入生歓迎バイキング

美味しいご飯と素敵な笑顔で2014年度のスタートです！

★私たちの会館生活★

学生会館での暮らし

芸術デザイン専門学校
1年 五丸みさき

私は実家を離れて専門学校に通いながらこの会館で暮らしています。

出身地は日高の方にある田舎町で、今年の4月に越してきました。

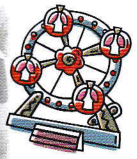
私は高校でも寮暮らしだったので会館の暮らしに対して不安はありませんでした。一人暮らしも考えてみましたが、新しい場所で初めからなんでも一人でやるのは厳しいし、札幌での都会暮らしに不安があったので学校から近い会館にしました。

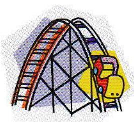
この会館では登下校に無料送迎バスがあるので便利です。朝と夜にはごはんが出て、アルバイトをしていても取り置いてもらえるのでとても助かります。

「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と毎日会館のスタッフの方が声をかけてくれます。困った時は気軽に聞けて優しく対応してくれます。

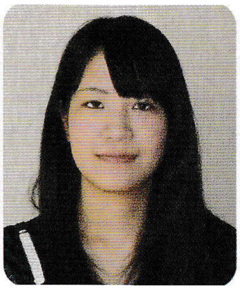
最初来たときは不安かもしれませんが、同じ気持ちの人たちがこの会館に来ているので心配ありません。バイキングやジンギスカンパーティ、ルスツツアーなどのイベントもあるので、友だちづくりのチャンスはたくさんあります。

親元を離れていきなりの一人暮らしが不安な方はまず会館での暮らしをおすすめします。





ルスツツアーも会館バスで！



楽しい会館生活

武蔵女子短期大
2年 宗石 雅美

親元を離れ、北海道女子学生会館で生活して1年と数ヶ月、温かい皆さんに囲まれ、私はとても充実した日々を過ごしています。

札幌にあまり来たことがなく、わからないことばかりで、最初はとても不安でした。女子大に馴染めるかも心配でしたが、会館に越してきてすぐ、同じ大学に通う友人が出来、今では一緒にお風呂に入ったり、勉強したりします。

友人たちはすごく賑やかで、寂しいと感じることがなく、むしろ騒がしすぎて注意されることも度々。個性あふれる仲間たちは一緒にいることが多い分、何でも話すことが出来、家族のような存在です。

この間、私の誕生日に友人たち一人一人のメッセージが書かれた色紙をもらって素敵なサプライズに感動したこともありました。

私たちがこのように楽しく生活できているのも学生会館のスタッフ皆さんのサポートがあってこそだと思います。毎日のバランスの良い食事は私のエネルギーの源でたくさんの元気を頂きます。明るいスタッフの皆さんが作った家庭的な味が私はすごく好きです。

また、事務室の皆さんには色々な面でお世話になっており、何か困った時、風邪を引いた時、迅速に対応してくださるので、安心して生活することができています。ロフトを取り入れたりとより生活しやすい工夫を熱心に考えて下さる館長さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。

2年間という短い期間しかいられないのはとても残念ですが、残りの学生会館での生活をより楽しみたいと思います。

留学生インタビュー

北海道女子学生会館には今年度、たくさんの留学生が生活していました。その中でも一番乗りでいらしたJessica Ngo.さんにインタビューを行いました！

★お気に入りのところは？
…ロフトベッドなので、下がすっきりしていること

★お部屋での過ごし方は？
…パソコンor睡眠

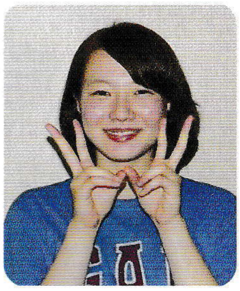
★この会館に来て、良かったと思うことは？
…友達がたくさんできたこと。
ごはんが美味しいところ。

Jessicaさん、ありがとうございました！会館での三か月はあっという間で、7月25日に帰国してしまい、とても寂しいですが、きっとまた会える日を楽しみしています！

✿わたしのふるさと✿

池田町出身

武蔵女子短期大
1年　林　彩花



私のふるさとは池田町です。札幌から車で約三時間半の所に位置する人口約七千人の町です。

私にとっての池田町のイメージはとにかく自然が豊かで、伸び伸びとした環境だということです。

それから、何と言ってもワインとワイン城はこの町の大きなシンボルです。ワイン城は小高い丘にそびえ立ち、町を一望することができます。そこから見る夕日は絶景です。

私は幼い頃からブドウを身近に感じ育ちました。小学校やその通学路、一般家庭の庭など、町のあらゆる所にブドウがあります。友人と下校途中やマラソン練習中につまみ食いしたことは、今でもとても良い思い出です。

中学校の頃はブドウ狩りが行事の一環として行われました。収穫されたブドウはワインとなり、成人式で頂けます。私は二十歳にそれを飲むことを今から楽しみにしています。

私には楽しみがもう一つあります。それは祖母のおうちでワインご飯を食べることです。赤ワインで炊いたご飯はもちもちと美味しく、私の大好きな故郷の味です。

皆さんは吉田美和をご存知でしょうか？毎日夕方５時になると、町内にはドリカムの音楽が響き渡ります。実は彼女は池田町出身のシンガーなのです。この爽やかな曲に合わせて、町中の犬たちが一斉に遠吠えする、この音はとても微笑ましいです。

札幌に来て、まだ数ヵ月ですが地元がとても懐かしく、夏休みに帰省するのがとても楽しみです。地元を離れて改めてふるさとの良さを実感しています。みなさんもぜひ一度遊びに来てください！

上ノ国町出身

武蔵女子短期大
1年　山吹菜緒美

私のふるさとは道南の上ノ国町という町です。人口五千四百人程と小さな町ですが、山と海に囲まれた自然豊かな町です。春は山菜採り、夏から秋にかけては渓流釣りや果物狩り、冬はスキーなど季節を感じながら一年中趣味やスポーツを楽しむことができます。

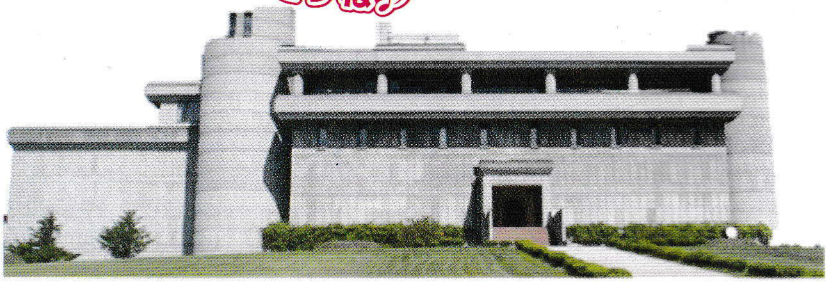
また、上ノ国町はイベントが多く開催されていて、イベントには町民はもちろん観光客も多く訪れています。食遊祭では、上ノ国の特産物を使った美味しい料理を食べることができます。その他にも各地域でのお祭りでは、山車を引いたり、エゾ地の火まつりというイベントではクイズ大会や、バンド演奏、たいまつ、花火などが行われ、とても人気のイベントがたくさんあります。このようなイベントに毎回登場する上ノ国町のゆるキャラである"カミゴン"はとても可愛くてぜひ会ってほしいです。

札幌は服屋さんや美味しい食べ物屋さん、娯楽施設がたくさんあり、とても便利で住みやすいところです。しかし、最近では地元に帰りたいなと思うことがあります。札幌に引っ越す前は、田舎で何もない町が少しいやでしたが、離れてみて上ノ国町の良さを新たに発見し、再確認することができました。今では夏休みに地元に帰るのがとても楽しみです。皆さんもぜひ一度、上ノ国町を訪れてみて下さい！

北海道女子学生会館は、道内外各地出身のみなさんが一緒に住んでいます！共同生活のなかで、お互いの出身地の意外と知られていないおもしろいお話が聞けちゃうかも…?!

上ノ国町のゆるキャラ
カミゴン

池田町も上ノ国町も一度行ってみたいですね♪



池田町の名所
ワイン城

私にとっての部活動

北高では様々な部活・局が活動していますが、私はその中の陸上競技部に所属しています。

　私は小学三年生の時からずっと陸上をやっていて、高校に入ってからも続けようと決めていました。入学後程なくして部活動の一斉入部があり、迷わず陸上競技部に入部届を出した私は勉強との両立に少々の不安を抱きながらも、ワクワクとした気持ちでいっぱいでした。しかし実際に部員として練習に参加していると、想像していたよりも体力が落ちており、周りについていくことだけでいっぱいいっぱいで、最初の大会の記録は目を覆いたくなるようなものでした。高校の部活を、中学の部活の延長として考えることはただの足踏みに等しいのだと思いました。

　入部から数か月経った現在、私は次の大会に向けて練習に励んでいます。大会や普段の部活から毎回何かしら課題が見つかり、それをクリアしていく事に、とてもやりがいを感じています。また、心から尊敬できる先輩方、支え合える仲間たちにも恵まれて、とても充実しています。

　会館での一人の生活・勉強・部活のバランスを保つことは簡単なことだとは思いませんが、その中でも部活は自分にとってなくてはならないものなので、安易に妥協せず、努力を重ねていきたいと思います。

札幌北高校1年
長尾　涼花

♡北海道女子学生会館は季節イベントが盛りだくさん♡

みなさんお待ちかね！ 会館ルスツツアー

たっぷり遊んだ帰りのバスではみんな、ぐっすりでした。

秋の味覚大満喫♪ フルーツ狩りツアー

美味しいもぎたてフルーツに笑顔が溢れました。

次回は春頃に発行予定です！お楽しみに！

★会館 HP と Facebook もぜひご覧ください★
「北海道女子学生会館」で検索！